

トルコ石 [turquoise]



トルコ石



robin egg blue(コマドリの卵)

開示コメント* T1 又は* T2 又は* T3

トルコ石の開示コメント

鉱物名	カラー/透明度	宝石名	方法	開示コメント	備考
天然トルコ石	グリーン	トルコ石	ワックス	通常、ワックス加工が行われています	※T1
			無色材の含浸	通常、透明材の含浸が行われています	※T2
	透明材の含浸処理が行われています			※T3	
	有色材の含浸		有色材の含浸処理が行われています	※T4	
	化学処理		化学処理が行われています	※T5	

トルコ石（ターコイズ）は青色～緑色の不透明な鉱物です。“robin egg blue（コマドリの卵の色）”に例えられる淡いブルーの色調が受け入れられ、紀元前 3000 年の昔より宝石として利用されてきました。古代エジプト人には特に好まれ、指輪や胸飾りなどに使用されていました。ツタンカーメンの墓から発見されたファラオ像に象嵌されたトルコ石は歴史上最も著名なもののひとつです。

トルコ石は非常に微細な結晶の集合体です。個々の結晶粒の大きさや詰まり具合によって色の濃淡や性質が多少変化します。多孔質のもの（空隙率が高い）ほど光沢は低く、通常はろう光沢～亜ガラス光沢です。青色は銅成分に因るものですが、鉄やその他の成分の影響で緑色にもなります。トルコ石の表面には褐色～黒色の筋やネット模様が見られることがあります。これらは主に酸化鉄に因るもので、“ネット模様入り”“クモの巣状”等と呼ばれています。

トルコ石は色の改善と安定化のためにワックスやパラフィンなどが含浸されます。これは多孔質が改善されることで光の透過が良くなるためです。含浸される素材が合成樹脂（プラスチック）や水ガラスなどの場合、石全体の耐久性も向上します。宝石鑑別書には、無処理もしくは軽度のワックス加工等のみが行われたものは、“通常、光沢の改善を目的としたワックス加工が行われています”とコメントされます※T1。安定化を目的に合成樹脂等が含浸されたものは程度に応じてその旨がコメントされます※T2-T3。染料などの痕跡が認められた場合には、有色材のコメントが記載されます※T4。近年では“ザッカーリー処理”と呼ばれる光沢を改善する特殊な処理が知られており※T5 これらの看破には元素分析などラボラトリーの技術が必要です。

トルコ石には類似石や模造品が多く知られています。歴史的にも古代エジプト文明において既に青色のファイアンス焼き（陶器の一種）が代用に使用されていました。天然の白色マグネサイトが染色されたものはかなり流通しており、“ハウライトトルコ”として販売されています。その他にも、トルコ石の破片が圧縮

成型加工されたものなども知られています。

トルコ石は多孔質なため、香水やその他の化粧品との接触は避けた方が良いでしょう。比較的硬度が低いのでキズをつけないよう配慮が必要です。超音波洗浄器は不適です。

一般社団法人 宝石鑑別団体協議会（AGL） 040118

